

総合リハビリテーションセンター 救護施設

のぞみの家



社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団



のぞみの家とは

のぞみの家は、身体や精神に障害があり経済的な問題も含めて日常生活を送ることが困難な方々が健康で安心して生活を送るための生活保護に基づく保護施設です。

事業案内

のぞみの家では、単身での生活が難しい方が、地域で自分らしく生活するための生活力を身につけることを目的とし、それぞれの利用目的に応じた支援を行うため、居宅生活訓練事業、保護施設通所事業、各種行事、クラブ活動、作業やリハビリ等を実施しています。

①各種行事・クラブ活動

単調になりがちな施設生活に変化と潤いをもたせるため、定例行事として、自治会、茶話会、映画鑑賞会等を行っています。季節の行事として花見会や収穫祭、年忘れ会等四季折々の行事を行っています。また、クラブ活動として、社会生活力プログラム、音楽セラピー、ドッグセラピー、生花クラブ、スポーツレクリエーション等、多様な活動を行っています。

	月	火	水	木	金	土	日
AM	いきいきクラブ 生花クラブ	いきいきクラブ	いきいきクラブ 誕生会（月1） 茶話会・自治会（第2） 音楽セラピー（第2,4）	いきいきクラブ 音楽クラブ（隔週）	いきいきクラブ		
PM	ラジオ体操 喫茶コーナー 作業 脳トレ 清掃活動	ラジオ体操 喫茶コーナー 作業	ラジオ体操 喫茶コーナー 作業	ラジオ体操 喫茶コーナー スポレク 社会生活力プログラム	ラジオ体操 喫茶コーナー 作業 ドッグセラピー（第4）	ラジオ体操 喫茶コーナー 映画鑑賞会	ラジオ体操 喫茶コーナー カラオケクラブ



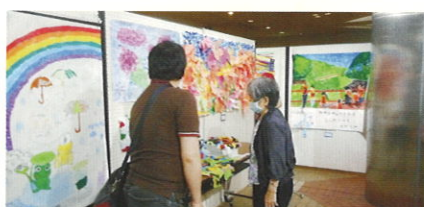
いきいきクラブ



夏祭り



外部作業



作品展外出支援



生花クラブ



防災訓練

のぞみの家の目標

1. 利用者の基本的人権を保障し、主体性を尊重した自己実現の支援を図ります。
2. 多様な障害や課題を持つ利用者のニーズに応じたサービスを提供します。
3. 地域の社会資源におけるネットワークを構築し地域に根差した施設を目指します。
4. 居宅生活訓練事業の拡充や社会生活力プログラムの実施等を通して、利用者の地域移行を進めます。



②リハビリ

心身機能の維持及び健康増進の一環として、残存能力を効率よく引き出すため、個別に達成可能な目標を設定して、積極的に行っています。また、作業療法士・理学療法士の支援を得てリハビリメニューを作成し、各々の身体状況に応じたリハビリを行っています。



リハビリ

③居宅生活訓練事業

利用者が円滑に居宅生活（地域）に移行できるよう、施設での生活訓練を行うとともに、訓練用アパートを確保し、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行っています。



外出支援



調理実習



地域移行シミュレーション室

④保護施設通所事業

居宅に移行した退所者に対してのぞみの家に通所してもらい、指導訓練等を行うとともに、軽作業の提供や日常生活についての助言・指導等を実施しています。加えて職員が居宅へ訪問して生活指導等（健康管理、服薬管理、金銭管理）を行うことで居宅で継続して自立生活が送れるよう支援しています。



通所作業



通所健康管理



施設概要

名 称 総合リハビリテーションセンター 救護施設 のぞみの家
設置主体 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
事業種別 救護施設(定員100名)、居宅生活訓練事業(定員6名)、
 保護施設通所事業(定員9名)
事業開始 昭和27年11月1日
建 物 鉄筋コンクリート造、3072㎡
 (居住棟2503㎡、日中活動室・食堂・厨房棟478㎡、渡り廊下92㎡ほか)



スポーツレクリエーション



お花見会

のぞみの家主要行事予定表

予定月日	行事名
4月	お花見(茶話会)
5月	家庭連絡会
	避難訓練(日中想定)
	春の健康診断
6月	日帰り旅行
7月	音楽療法講座
	施設運営協議会
	施設内消毒
	日帰り旅行
8月	センター盆踊り大会
	秋の健康診断
9月	日帰り旅行
	地域交流観月会
10月	避難訓練(夜間想定)
	日帰り旅行
11月	収穫祭
	日帰り旅行
	ワックスかけ
12月	年忘れ会
1月	初詣
	非常食提供訓練
2月	総合防災訓練
	節分会

※日帰り旅行・・・小グループに分かれて余暇外出を実施(6月～12月)
 ※茶話会・・・毎月第2水曜

